

日本A級ディンギー協会 クラスルール

平成27年 6 月 1 日
日本A級ディンギー協会 (JADA)

全日本A級ディンギー選手権大会の参加艇は外観及びサイズは殆ど同じであるが、在来艇、軽量木造艇、国産FRP艇、輸入木造艇、輸入FRP艇等々があり、建造国、造船所、建造方法、使用材料等々広範囲にわたり、各種の艇の建造規格を完全にカバーすることは極めて難しい。

先般、日本ヨット協会が導入して、日本A級ディンギー協会(JADA)が保有/管理しているJADA建造図面/規格を今後のベースとする主旨でクラスルールを改定(2014年8月29日)したが、当該建造図面/規格にあわせてルール内の主要部分の寸法も改定し、またJADA建造図面/規格の明確化に対応して、輸入艇についてもルール化した一項を入れ、さらに煩雑になったルールの項目を整理し「クラスルール補則(2014. 10. 19)」として作成した。

今般、この「クラスルール補則」を「クラスルール」とする。

尚、下記2、3、5項に示す寸法は最大値である。

1. 構造・材質

- 1) A級ディンギーの艇体は クリンカー構造とし、木材、FRP等の材料を使用して建造することが出来る。
- 2) 外板の樹脂接着工法は認められる。
- 3) 艇体の両舷にビルジキールを固着しなければならない。
- 4) FRP艇のダブルボトムは認められる。
- 5) オンデッキ・マストは認めるが、帆走時の安全性に配慮すること。
- 6) キックアップ・ラダーは認められるが、レース中は 最下部に固定しなければならない。
- 7) ティラー・エクステンションの使用は認められる。
- 8) セール・バテンの使用は認められない。

2. 艇体の全長・全幅

JADAが保有、管理している 建造図面の主要寸法は以下の通り

全長 (ステム前端より トランサム後端までの水平距離)

規格 3658mm

全幅 (防舷材を含まず 外板と外板の外面間の距離)

規格 1424mm

3. ビルジキール

木造艇 19mmx19mmX(1200mm~1850mm)

FRP艇 20mmx20mmX(1200mm以上)

材料 艇体と同種類の材料を使用する。

取付け位置はJADA建造図面による。

4. 帆走重量 及び バラスト

レース参加状態における艇の帆走重量を 140kg以上とする。

帆走重量とは 艇体、センターボード、ラダー、ティラー、マスト、ブーム、ガフ、及び リギン、セールを言う。(ただし、オール、パドル、及びアンカーは含まない)

新参加艇、未計測艇、計測必要艇は所定の帆走重量の計測を受ける

帆走重量140kgに満たない艇は 不足重量分のバラストを

第2スオート上に ボルトで固定し、外してはならない。

違反艇は RRS-51(バラスト移動禁止)によりDSQとして処理される。

バラスト搭載艇は 大会の都度、不足バラスト重量、固定ボルト/箇所の確認を受ける

5. セール (日本ヨット協会 造艇/計測規則 第10条による)

セールのヘッドとフットのハトメとハトメの中心間の距離を3581mmとする。

ガフとブームそれぞれに、セール装着位置にあわせ、3581mmの両端に黒色テープを巻く。

セールのリーチの長さは 5303mm、ラフの長さは 1295mmとする。

6. セール番号 及び リコール番号

レース参加艇は 協会に登録された セール番号 と リコール番号を所定の位置につける。 リコール番号は赤色の数字で1文字のサイズは約縦20cm、横15cmとする。

FRP艇はセール上部に 赤色四角形(約 20cm x 20cm)のシールを45度回転させて添付する。

予備セールは 登録された セール番号、 リコール番号を使用する、異なるセール番号を使用する場合には、事前に申告し承認を受ける。

この場合のリコール番号は登録されたリコール番号を使用する。

7. 艀装品の材質

センターボードは 鉄、ステンレス、アルミ、 また マスト、ブーム、

ガフ、ラダーは 木材、竹、アルミ、樹脂、 或いはそれに準ずる材料を使用できる。

8. 安全対策

右舷、左舷、のベンチの下に エアーバック 或いは それに類する浮力材を装着、固定すること。但しエアータンク付きのFRP艇は除く。

9. 輸入艇、輸入セール

JADAが認めた建造国ディングー協会の 正式規格、検査により建造/製造された艇、及びセールはA級全日本に参加出来る。

10. 特記事項

従来の図面、型板で建造していた造船所は 引き続いて従来の図面、型板を使用して建造することができる。

新規参入の造船所はJADA建造図面に従い、正確に建造した旨の建造証明書を発注者 及び 協会に提出する。

以上

クラスルールの制定と改訂について:

○2008年 6月27日 葉山大会理事会にて決定したものである。

○2011年 1月22日 役員会にて、クラスルールにビルジキール項目記載を決定した。

○2012年 11月13日 役員会にて8項【リコール番号及びFRP艇の識別表示】として予備セールとFRP艇の識別について加筆記載した。

○2014年 6月16日 役員会にて改定

○2014年 8月29日 役員会にて改定

○ 2014年 10月19日役員会にて「補則」を決定

○ 2015年 3月23日役員会にて2015年6月1日より「クラスルール補則」を「クラスルール」とすることを決定